学びの部屋　～保健～「4年生育ちゆく心と体」

科学的な根拠に基づく知識を身に付ける。これは保健の学習の目標の一つです。１１月から４年生は保健の学習で二次性徴について学びます。子供は自分の身体の変化に強い関心と不安を抱いています。そのため、学習の中で疑問に思ったことや聞けなかったことを家庭に帰ってから保護者の方に聞くことがあるかもしれません。その際には、ぜひ保護者の方の言葉で、正しい知識を伝えていただければと思います。時には、ドキッとするような質問がくることもあるかもしれませんが、その時は一言、「いい質問だね！」と返してあげてください。インターネットを通じて欲しい情報が容易に手に入る環境において、子供が保護者の方に直接質問をすることはまたとないチャンスです。すぐには答えられなくても、保護者の方がきちんと調べて正しいと思うことを、伝えていただければ幸いです。（養護教諭　村上　咲）

第３回　研究授業　６年

「自分事」の歴史

「身近に感じづらい。」「暗記教科だからあまり好きじゃない。」

歴史学習をこのように思っている子供も少なくありません。そうした子供たちに歴史や文化はたくさんの人と人との思いや願いが交差する血の通ったものであることを分かってもらうため、室町文化の単元で研究授業を行いました。

実際の授業では、まず、室町時代に大成した能の一つである薪能が芝小学校から徒歩圏内の増上寺で行われていることを伝えました。地理的に身近な薪能の調べ学習を皮切りに、芸術、建築様式、娯楽、食文化など、様々な室町文化を調べて交流したことで、今なお続く室町文化は私たちの生活の礎と言っても過言ではないことに子供たちは気付いていきました。

単元末では、脈々と受け継がれる室町文化の中にも近年伝統が途絶えてしまった事例があることを伝え、身近な薪能を後世に残していくためにはどうしたらよいのだろうか、という視点で話し合いました。子供たちの授業の振り返りには「薪能は日本の誇りのようなもので守らなければいけない。」、「日本独自の技法が海外からも高く評価されている能を守っていかなければいけないと思った。」というものがありました。

学習後、子供たちに「能を観に行きたいですか。」と問うと手を上げた子は３割ほどでした。しかし、「薪能が後世に残ってほしいですか。」という問いに対してはほぼ全ての児童が手を挙げる様子が見られました。自分事として歴史学習をした結果、伝統文化を大切にする心が培われていれば幸いです。

（６年担任　齋藤　文子　中嶋　広大）

学習発表会

今年度は例年なら学芸会を実施する年になりますが、感染症予防対策の観点から密集する活動、飛沫感染の可能性がある活動、身体の接触を伴う活動を避けるため、芝小学校初の学習発表会を実施することになりました。総合的な学習の時間、生活科、国際科を中心に、日頃、学習した成果を発表して、自分の学びを振り返り、次の学びへ結び付ける機会とします。第１学年は家族をにこにこにする大作戦、第２学年は町探検で見つけた芝のまちのお気に入り、第３学年は国際科の学習をもとにした英語による発表、第４学年はよりよい社会にするための提案、第５学年は米作り体験をもとにした食のプロジェクト、第６学年は箱根移動教室の学習のまとめを発表します。調べたことをプレゼンにまとめたり、簡単な劇にしたりと、それぞれの学年がまとめ方や発表の仕方も工夫しています。子供たちが生き生きと表現する姿を御覧いただき、温かな拍手をお届けください。（学芸的行事委員会 石井ゆきこ）